



学校音楽科におけるDVD教材の開発～しまね映画塾との連携～

教育学部 音楽教育専攻教員 河添達也

音楽教育連携推進室 助教：福間志保，音楽教育専攻大学院生・学生

映像と音（音楽）は、とても密接な関係を持っています。同じ映像でも、背景に響く音や音楽によって、そのイメージや意味内容が劇的に変化します。テレビのニュースや報道番組にBGM（音楽）がつけられていないのは、音響効果による視聴者への印象操作とならないよう、中立・公正性を保持しているからです。

このような音と映像の関係性に着目し、新たな学校音楽教育の教材化を図ろうとする試みが、しまね映画塾と島根大学教育学部との連携プロジェクトの主眼です。2014年7月の松江市小学校音楽部の研修会に、作曲家の長岡成貢さんと錦織良成監督をお迎えして検討を重ねた結果、しまね映画塾2014の映像作品を提供していただけることになりました。BGM無しの、映像のみの編集版DVD（アビット版）を制作し、「音楽づくり/創作」の音楽科の授業教材として、松江市内の小・中学校、および高等学校に配布し、これを活用した授業実践に取り組んでいただいています。

映像制作プロジェクトと音楽教育との公式な協働はおそらく我が国初の試みであり、松江市教育委員会および（公財）しまね文化振興財団との連携によって実現したものです。すでに多くの学校で、このDVDを活用した授業実践が行われていますが、教育学部附属中学校（現・後期課程）での授業風景は、地元テレビ局の特集番組としても報道されています。

